

第7回 市民公開講座 お口の健康講演会

脳の健康はお口から

“脳”と“口。食”の秘密、 ご存じですか？

入場
無料



日程 2026年 11月7日（土）

時間 15:00～17:00

会場 門司赤煉瓦プレイス 赤煉瓦交流館
（JR門司駅赤煉瓦タウン口より徒歩3分）

講師 九州歯科大学 共通基盤教育部門 教授
吉野 賢一 先生

多くの動物は、特定の食べ物を得るために特別な体を進化させてきました。キリンの長い首やライオンの鋭い牙、アリクイの細長い舌などはその例です。特に「口」は、食べ物を取り込み、選び、かみ砕き、飲み込むための重要な器官であり、その動物の食べ方や生き方をよく表しています。

一方、人は特定の食べ物に特化した体ではなく、多様なものを食べられる「汎用的な体」を持っています。そして人は、「発達した脳」を使うことで、道具や火を利用し、安全性や状況を判断しながら多様な食生活を可能にしました。

また、人の「口」は単なる食べるための器官ではありません。味わい、かみ、飲み込むだけでなく、話す、表情をつくる、人と心を通わせるといった重要な役割も担っています。そして「食べる」という行為そのものも、脳と深く関わっています。

脳は、味覚や嗅覚、視覚などの情報を統合し、「おいしい」「危険かもしれない」と判断します。さらに、食事のときの記憶や感情、人との会話や共感も脳の働きによって支えられています。

つまり「口」と「食」は、脳と密接に結びついています。人は単に栄養を摂取しているのではなく、脳を働かせながら、安全を確かめ、味わい、人と関わりながら食べているのです。だからこそ、脳の健康を保ち、豊かで生き生きとした生活を送るためには、「お口の健康」が重要な鍵になるのです。



会場地図

主催：一般社団法人 門司歯科医師会
共催：北九州市

申込方法・お問い合わせは
チラシまたはHPまで

